

かけはし



発行：峡南教育事務所地域教育支援スタッフ

所在地：南巨摩郡富士川町鵜沢771-2

TEL：0556-22-8154

FAX：0556-22-8144

HPでも御覧になれます。URL <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html>

平成27年度 所長あいさつ

峡南教育事務所 所長 山下一雄

『峡南教育事務所新組織体制の中で』



山々の木々の若葉が美しい季節となりました。この時期(4月下旬)、木によっては、同じ緑色でも色合いが違い、まさに生命力の豊かさを感じることができます。

関係機関におかれましては、新体制のもと、新しい年度が晴れやかに出発したことと思います。

今年度の峡南教育事務所は、昨年度に比べ、総務スタッフ1名減の2名、地域教育支援スタッフ1名減の2名となり、地域学力向上推進幹(主幹・指導主事事務取扱)1名が新設されました。所長、次長、学校教育スタッフ3名に、スクールソーシャルワーカー2名、若手教員グローアップ事業アドバンスティーチャー1名を加えて、総勢13名となりました。今年度、新組織体制の中、模索しながらも、それぞれの担当において、関係機関と連携・協力を密にとりながら各種業務の目的達成に向け、職務を遂行して参ります。

さて、今年度から教育委員会改革を中心とした地方教育行政改革に移行しました。4月22日には、新教育委員会制度に基づき、知事が主宰する「総合教育会議」が初めて開催されました。その中で、知事と県教育委員のみなさんが、教育行政の指針となる大綱を「やまなしの教育振興プラン」を参考に協議し、策定することを確認されました。

峡南教育事務所としましても、新やまなしの教育振興プランの基本理念「未来を拓く『やまなし』人づくり」の実現に資するため、「1 学習指導要領に基づく適正な教育課程の編成と実施に向けた取組を進め、基礎・基本の定着と思考力・判断力・表現力の育成を図ることにより、確かな学力の向上を実現する。」「2 豊かな心と健やかな体の育成を推進し、いじめ・不登校・暴力行為等諸問題への対応について、充実・強化を図る。」「3 地域全体で取り組む教育の推進を図るとともに、地域の諸機関との連携強化、学校・家庭・地域の連携強化を推進し、地域の教育力の向上を図る。」「4 給与や旅費等の事務処理において、事務処理ミスが発生しないようきめ細かな指導・助言をする。」の4つの「取り組むべき課題」の解決を目指して参ります。関係各位の御支援、御協力をお願いいたします。



かけはし137号の紙面

- p1 教育事務所長あいさつ
- p2 ことぶき勸学院入学式・進級式等
- p3 身延山高校人権講演会
平成27年度研究推進校紹介
- p4 連載特集記事についてのお知らせ
教育事務所新スタッフ紹介

平成27年度 ことぶき勸学院

入学式・進級式



平成27年4月14日、コラニー文化ホールで、峡南教室をはじめとする県内の6教室の1年生204名（内 峡南教室47名）の入学式、2年生185名（内 峡南教室20名）の進級式が盛大に挙行されました。阿部邦彦学院長【山梨県教育委員会教育長】は式辞において、「生きがいの創出」「新たな縁・絆の構築」「地域の活性化に貢献できる人材の育成」「健康増進」の4点の実現を目指すとし、養老孟司氏の著書の一文、「変わっていくこと、それが学ぶ

ということ、知るということである。自分が変わっていなかったら、何も学んでいないと思えばいい。」を引用し、「変わっていく」、そうした柔軟性を持ち続けることが、喜びとなり、人生をさらに豊かにすることでしょうと話されました。また、昨年度放映された「花子とアン」でブラックバーン校長の、「The best things are never in the past, but in the future. 最上のものは過去にあるのではなく、将来にある。」と話した一文を引用し、目標を持って前向きに努力する姿は、若者達のモデルであり、本県に活力をあたえ、「ダイナミックやまなし」の実現にもつながっていくと話されました。



阿部邦彦学院長（県教育長）

また、山梨県教育委員会の石川洋司委員長は、祝辞において、長年にわたって地域を支えてこられた豊かな経験を、若い世代に伝えていただきたい。そして、生涯にわたり学ぶことを楽しんでいただきたい、と述べられました。

講演会

午後には、関東医療クリニック院長・日本笑い学会講師の松本光正先生による「笑い与健康」と題した講演会が行われました。先生は、5つのキーワードとして①笑い（笑う門には福来る。心が体を支配している。）②加齢変化（歳。加齢による変化は「症」ではない。）③自然治癒力（今が最良。因果応報。すべて生命維持の反応。）④知らぬが仏（知らなきゃ安心。君子医者に近寄らず。）⑤科学的（誰がそう言ってるのか？それは科学ですか？）等を挙げながら、終始笑いを交えて1時間半の講演があっという間に過ぎていきました。



松本光正先生

ことぶき勸学院 峡南教室開講式

入学式・進級式を終えて、峡南教室の開講式が4月21日（1年）、24日（2年）に行われました。山下峡南教育事務所長から激励のことばが贈られ、1年生は再入学を含め48名、2年生は20名でスタートをきることになりました。担当の高野裕先生は、「共に学んでいきましょう。」と挨拶をされました。生徒さんの笑顔と期待に満ちあふれた表情がとても印象的でした。



高野 裕先生



1年開講式



2年開講式

人権講演会

身延山高等学校



馬野 裕朗氏

3月19日(木)身延山高等学校3階大教室において、NGOプラン・ジャパンの馬野裕朗(ひろあき)氏による「世界の女兒の問題を考える」講演会が開催されました。馬野先生は、東南アジアやアフリカなどの発展途上国に長期にわたり滞在し、差別や貧困に苦しむ人々を支援するための活動を精力的に進めています。先生は、講演会の中で、①先進国からの支援が途上国全体にまで十分に行き渡らず貧困の解消につながっていないこと、②女性(女兒)への偏見や差別が地域社会全体の発展の妨げになっていること、など実体験をもとに話されました。特に、女性(女兒)への偏見や差別については、女性は家事労働や子育てに専念すればよい、学校で学ぶよりは早く結婚して子ども産めばよいという風潮が根強く残り、それが地域社会の発展の妨げになり、差別や貧困から抜け出せない大きな要因になっていることを明らかにしました。女兒の中途退学者は2人に1人、15歳までに結婚させられる女性は7人に1人、出産時に亡くなる10代の女性は5万人に上るそうです。女性が学校に通い様々な知識を得て自立できるよう支援していくことが、女性や子どもの生存率を高め、経済格差や差別の解消につながり、地域社会全体の発展に寄与していくこととなります。最後に、私たちのできることを先生から4つの提案がありました。①途上国の取り残された人々のことを学び、サポートを続けること②個人やグループでの学びを広げ、大きな力にすること、③取り残された人々への支援を促す活動に寄付をすること、④政府などに働きかける活動に参加すること。静かに耳を傾け真剣に学んでいる生徒の姿をみて、人権問題への関心の高まりを感じました。内容の充実した素晴らしい講演会となりました。



平成27年度 研究推進校 紹介

平成27年度を中心に、文部科学省、山梨県教育委員会等の研究指定を受けて、教育活動に取り組んでいる管内の小・中・高等学校の事業を紹介します。



事業名	期間	推進校及び公開日
英語教育強化地域拠点事業(国)	27-29	市川小学校、市川東小学校、市川中学校、市川高校
コミュニティ・スクール導入推進事業(国)	27-28	南部中学校
授業改善プラン実践事業推進校(県)	26-28	身延小学校 六郷中学校…11/16(月)、12/11(金)
豊かな心をはぐくむ「やまなし」道徳教育推進事業(県)	25-27	大塚小学校…10/30(金) 鮎沢中学校…11/6(金)
幼児教育振興事業(県)	27-28	上野小学校
初任者研修 授業研修会 実習校		大河内小学校、増穂中学校
早川町 研究指定校	25-27	早川南小学校…11/25(水) 公開
身延町 研究指定校		久那土中学校…10/30(金) 公開 身延小学校

※早川南小学校の公開日が当初10/30となっていたようですが、11/25です。訂正させていただきます。申し訳ございませんでした。

◎連載特集記事についてのお知らせ

平成26年度に新しい企画として「峡南地域の名産食材・名物郷土料理」を取り上げ、9回連載しました。これは、今日的な話題性（学校における食育教育の展開、食の安全性についての注目、世界文化遺産としての和食への注目、家庭における食事の役割への注目など）が非常に高いこと、また各地域に偏りなく掲載対象を選定できる可能性が高いことといった観点から、「峡南地域の食材」を連載特集といたしました。また、食材を取り上げる中で、各地域の食生活改善推進員さんの活動も取り上げ、好評をいただきました。平成27年度も引き続き「峡南地域の名産食材・名物郷土料理」について連載特集する予定であります。

昨年度（平成26年度）

第128号（6月号） 南部町「たけのこ」と南部町食生活改善推進委員会	第129号（7月号） 早川町「手づくりハム」と早川町食生活改善推進委員会	第130号（8月号） 富士川町「道の駅富士川」と富士川町食生活改善推進委員会
第131号（9月号） 市川三郷町「あんびん」と市川三郷町食生活改善推進委員会	第132号（10月号） 身延町「ゆば」と身延町食生活改善推進委員会	第133号（11月号） 峡南保健所管内食生活改善推進員協議会
第134号（12月号） 富士川町名産のひとつ「ゆず」	第135号（1・2月号） 早川町食生活改善推進委員会「健康料理発表会」	第136号（3月号） 身延高校生と峡南地域食生活改善推進委員のクラブ 郷土料理学習会

今年度は、次号の第138号から連載を始める予定です。

◎峡南教育事務所スタッフ紹介

26年度末の人事異動により、5人の新メンバーを迎え、新たな気持ちで業務をスタートしました。「総務スタッフ」「地域教育支援スタッフ」「学校教育スタッフ」の3部門で子どもたちの健やかな成長を支援します。**どうぞよろしくお願ひします。**

★ 教育事務所業務のあらまし ★

- 町教育委員会の指導・助言及び町教育委員会との協力
- 町立学校の教育環境整備についての助言
- 学校・家庭・地域社会の連携の推進
- 教育行政に関する相談及び子どもの教育相談
- 教育に関する広聴及び広報
- 県立高等学校教育改革に関する連絡調整
- 県費負担教職員の人事についての連絡調整
- 県費負担教職員の給与、旅費、児童手当、研修
- 社会教育、文化財
- 学校教育の指導助言
- 学力向上対策の実施
- 学齢児童生徒の就学指導
- 教科書採択事務の指導助言
- 学校保健、給食、安全指導

峡南教育事務所の職員一覧		新任
所 長		山下 一雄
次 長		依田 尚己
総務	主査	横澤 忍
		齋藤 敬子
地域教育支援	主幹・社会教育主事	佐藤 幸彦
	主幹	田代 剛久 ☆
学校教育	地域学力向上推進幹	渡辺 勝
	指導主事	玉島 正隆
	指導主事	今村 弘樹 ☆
スクール・ソーシャル・ワーカー	指導主事	渡辺 安人 ☆
		瀧田 恵子 ☆
	甲斐 江美 ☆	
アドバンス・ティーチャー	望月 吉国	

☺情報提供のお願い☺

地域教育情報紙「かけはし」は、学校・家庭・地域の連携を深め、社会教育と地域教育の充実発展に貢献することを目的としています。皆様の情報を募集しています。特色ある取組や機関の連携事例等、ぜひ御紹介ください。今年度も従来同様の編集に努めますので、御愛読よろしくお願ひします。

峡南教育事務所地域教育支援スタッフ
TEL：0556-22-8154

所在地：南巨摩郡富士川町鯉沢771-2
FAX：0556-22-8144